

「腹膜透析患者における運動療法に関するアンケート調査」に参加される対象者およびご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

川島病院リハビリテーション技術科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究では、当院に外来通院されている腹膜透析患者様の運動療法に関してのアンケート調査を行い、運動実施の違いやサルコペニア、フレイルとの関連性を明らかにすることです。

このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会下さい。

【研究課題名】 腹膜透析患者における運動療法に関するアンケート調査

【研究期間名・担当医】 社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科 田代 学

【研究代表者名・所属】 社会医療法人川島会 川島病院 リハビリテーション技術科 山本 晃平

#### 【研究の目的】

腹膜透析 (PD) 患者は全透析患者数の割合が 3%であり血液透析患者より少なく、また PD 患者は常に在宅ベースの非監視型の運動療法を行わなくてはならない背景があります。そのため運動療法関連の研究報告は比較的少ないのが現状です。また高齢 PD 患者においては PD の継続を困難にする理由として、身体機能低下と日常生活動作能力の低下が挙げられており PD 患者における高齢化への対策も必至の課題となっています。PD 患者への運動療法の効果についても近年明らかになってきているが依然として PD 患者を対象とした運動療法に関する報告は少なく不明な点が多いです。そこで PD 患者の運動意識や身体活動、身体組成、身体機能について調査し現状を明らかにすることが本研究の目的となっております。

#### 【研究の方法】

##### 1. 対象となる方

当院に通院されている PD 患者様 80~100 名程度

##### 2. 利用する情報

基本情報：性別、年齢、身長、体重、BMI、透析導入原疾患、PD 期間、投薬状況

アンケート情報：運動の興味、必要性、行動変容ステージ、運動頻度、時間、種類、運動をしない理由、運動意欲、平均歩数、運動指導された経験の有無 等

身体組成 (InBody)：骨格筋指数 (SMI)、位相角 (phase angle)

身体機能：握力、立位バランス能力、歩行速度、下肢筋力、下腿周囲長

栄養評価：Alb, Cr, たんぱく質摂取量

3. 研究期間

2025年3月～2027年3月【2年間】

4. 共同研究期間

該当ありません

5. 個人情報の管理について

研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。研究参加の拒否、撤回をされた方に不利益は発生しません。また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないように管理をしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。

6. 医学上の貢献

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しましては、氏名、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡下さい。

【連絡先・相談窓口】

研究機関 社会医療法人川島会 川島病院

研究責任者および相談窓口 川島病院リハビリテーション技術科 山本 晃平

電話：088-631-0110

研究協力医師 田代 学